

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
文書表現技術 IB	社会人としての日本語力を身につける B	新島 尚子	1 年次後期
講義の目的	本講義は、社会人として必要な日本語力や、良識を身につけることを目的とし、就職試験における筆記試験・面接試験対策にも対応する力をつける。また、自分の見解をまとめ他者に伝える日本語コミュニケーション能力も養う。		
到達目標	場面に応じた適切な言葉遣いと、目的に応じた確かな文章力を身につけることを目標とする。さらに、就職活動に有利となる文部科学省後援『日本語検定』該当級合格を目標とする。ただし、受検は任意。		
講義内容	日本語を領域毎（敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字）に理論説明、問題演習。また、話力向上のための演習を行う。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション：講義の目標、内容、進め方、評価方法等について説明	
	第2講	敬語① 動詞の特定形・一般形 名詞の敬意表現	
	第3講	敬語② 手紙文における常套表現 状況に合わせた敬語の使い方	
	第4講	文法① 可能・使役・受け身	
	第5講	文法② 陳述の副詞・接続詞・形容詞・助詞・助動詞	
	第6講	語彙・漢字 類義語 対義語 四字熟語	
	第7講	言葉の意味 間違いやすい言葉遣い	
	第8講	総合問題：文章読解	
	第9講	就活に活かせる日本語力① SPI 問題（言語系）を解く	
	第10講	就活に活かせる日本語力② SPI 問題（言語系）総合問題	
	第11講	就活に活かせる日本語力③ 要約力①（短文）	
	第12講	就活に活かせる日本語力④ 要約力②（長文）	
	第13講	就活に活かせる日本語力⑤ 文章作成	
	第14講	就活に活かせる日本語力⑥ ビジネスシーンにおける言葉遣い	
	第15講	期末試験対策	
指導方法	指定テキスト、配布レジュメに沿って解説と問題演習を行う。また、課題レポート、文章作成、発表の機会を設け日本語力を高めていく。		
授業外学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について辞書を引き、課題をもって授業に臨むことが必要である。また、事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めていくことができる。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）70%、平常点（発表・発言）15%、平常点（授業内課題）15%、計100%で成績評価する。		
テキスト	『ステップアップ日本語講座 上級』（東京書籍）、適宜プリント配布		
参考書籍	『日本語検定公式テキスト「日本語」上級』（東京書籍）		
特記事項	レベル別クラス（I/II）は、前期成績にて指定する。『日本語検定』受検（本学実施）に関して、別途受験対策講座を設ける。		